

# 「腎細胞癌におけるラブドイド成分の空間的マルチオミクス解析」に関する研究

## 1. 研究の対象

本研究の対象は、高知大学医学部附属病院において、過去に腎細胞癌と診断され、手術（腎摘除術または腎部分切除術）を受けられた患者様のうち、病理検査により腫瘍組織にラブドイド成分が認められる、またはその有無を評価できる方です。

対象となる症例は、2001年1月1日から2025年12月31日までの期間に腎細胞癌と病理診断された症例とします。

## 2. 研究目的・方法

腎細胞癌の中には、「ラブドイド成分」と呼ばれる、がんの性質がより悪くなる変化を含むものがあります。このような変化がある腎細胞癌は、一般に予後（病気の経過）が悪いとされていますが、一方で、免疫チェックポイント阻害薬（体の免疫の力を利用してがんを攻撃する薬）がよく効く場合もあることが報告されています。本研究では、手術によって摘出された腎細胞癌の組織を用いて、ラブドイド変化の程度が異なる部分ごとに、PD-L1（がんが免疫から逃れるために使うたんぱく質）を含む遺伝子のはたらき方にどのような違いがあるのかを調べます。そのために、空間トランスクリプトーム解析（組織の中の「どの場所で、どの遺伝子が働いているか」を詳しく調べる新しい解析方法）を用いて、腫瘍内部の場所ごとの特徴を明らかにすることを目的としています。

本研究は、すでに診療の目的で採取・保存されている手術検体や診療情報を使用して行う後ろ向き研究です。新たに検体を採取したり、患者さんに追加の検査や処置を行ったりすることはありません。

研究期間：倫理委員会承認日から2028年3月31日まで

検体・情報の利用開始予定日：2026年2月25日から

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、以下の試料・情報を利用します。

- ・手術時に採取され、病理診断後に保存されている腎細胞癌手術検体
- ・診療録に記載された情報（年齢、性別、診断名、病理組織所見、病期など）

## 4. 個人情報の保護について

研究に使用する試料・情報は、個人識別情報を削除し、厳重に管理します。研究成果を学会や論文等で公表する際にも、個人が特定される情報は一切含まれません。

## 5. 研究への参加拒否について

本研究において、試料・情報が研究に利用されることについてご了承いただけない場合には、研究対象から除外いたします。研究への参加を拒否された場合でも、患者様に不利益が生じることは一切ありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書および関連資料を閲覧することが可能です。

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505

高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部

電話；088-880-2402

【研究責任者】泌尿器科学講座 山本 新九郎